

釧路南ロータリークラブ会報

第 34 回 例 会 報 告 2008.3.21 通算 1245 回

・点 鐘 佐野会長

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 花田 善廣会員



・会 長 挨 拶



本日のプログラムは家庭集会報告です。A グループ、B グループ共に私と幹事が出席させて頂きました、2 グループとも活発な話し合いで 2 時間では時間が足りないように思うほどでした。その中の議題の 1 つに「クラブ運営について」の話し合いがあり各委員会が活発な活動をしなければならない、という結論になりました。そこで今年度残すところ 8 ヶ月半ですが、各委員会の当初の活動計画書が 100 パーセント達成できるように各委員長様にお願いしたいと思います。先週の例会で市役所勤務保健師の岡田さんにメタボリックシンドロームについてお話をさせて頂きました。その中でウエストが 85 センチ以上はメタボリックだそうです、私も大幅にオーバーしていました、会員の皆様も健康管理には十分注意をし

て頂きたいと思います。

・幹 事 報 告

- * 本日の例会終了後理事会を開催いたします。
- * 次週のプログラムの担当は、社会奉仕より新世代委員会に変更となります。ゲスト講話ですので多数の出席をお願い致します。
- * ローターアクトのアンケート提出のお願い
- * 米山梅吉記念館、春季例祭のご案内を拝受しております。

・委員会報告

出席委員会

・会員 28 名 16 名出席メイキャップ 3 名 59.2%

・本日のプログラム

「 家庭集会報告 」

担当 親睦活動委員会

A グループ家庭集会報告



渋谷会員



長江会員

- ・ 日 時 平成 20 年 3 月 5 日 (水) PM6:30～
- ・ 場 所 鴨とり権兵衛
- ・ 座 長 長江会員
- ・ 報 告 渋谷会員
- ・ 出席者 佐野会長、長倉幹事、北上会員、佐藤(玄)会員、清水会員、森江会員、和田(優)会員、山本会員

A グループは、①会員増強②退会防止③クラブ運営④その他の四つの議題について各会員がそれぞれ発表致しました。

①会員増強について

前年度・前々年度と比較するといいい結果ではないでしょうか。しかし、今期の目標である 1 会員 1 名増強と言う目標には難しい所があり、声をかけているが入会までたどりつかないのが現状と言うのが多数の意見でしたがその反面 1 会員 1 名増強と言う気持ちで取り組む姿勢が各会員に見られたのではないのでしょうか。それと、現在新会員がまた新しい人を紹介・入会と言う形が続いておりそれについて学ぶべき点があるのではと言う意見もありました

②退会防止について

会員同士親睦をより一層深め、その様な会員がもしいるとすればなんとかとどまっていたけるようにアドバイス等もう少し会員の方々が手を差し伸べるべきではないでしょうか。

③クラブ運営について

各委員会がもう少し活性化しなくてはならないと言う意見がでました。いつも例会で委員会報告するのは決まった委員会なので、他委員会の中間活動報告(特に四大奉仕については)をしてはどうでしょうかと言う意見がありました。

④その他

例会のあり方について話がでました。楽しい例会を作り上げる事によって退会防止にもつながりますし、新しい人を誘いやすい環境にもなるという議論結果となりました。

最初に座長の長江会員より、「飲みながら発表を行いましょう」と言う提案でお酒も入り普段よりもだいぶ口もなめらかになり、話題は例会の昼食にまでのぼり、いつも皆さんが思っている事や感じた事が述べられたと思います。

それと最後に、ロータリアンとしての品格の話も出ました。具体的な話はここではしませんが、みなさんも胸に手をあてて今一度考えて見てはいかがでしょうか？

B グループ家庭集会報告



菅井会員



木内会員

こんにちは。B グループ家庭集会の発表をさせていただきます。B グループは 3 月 14 日佐野会長、長倉幹事、船戸会員、高橋会員、工藤会員、木内会員、和田会員、長井会員、菅井会員の 9 名にて、木内座長のもとに行いました。まず、今回、私を含め 3 名の新入会員がおりましたのでロータリーを理解していく上でも例会はなるべく休まないで出席する。そして一生懸命勉強していく事が大切であるとお話を受けその事を再認識いたしました。次に出た議題はやはり永遠のテーマでもあります会員増強の件であります。話し合いの中で会員増強は、クラブがある限りこれからもずっと続く問題ですので、まずは候補者リストをきちんと更新していく。そして全ての会員が常に会員増強の意識を持ち、候補者があれば積極的に声を掛けていくようにする。「あの人は無理そうだ」と個人的な判断で諦めずに行動していくことが大切であるという認識で一致しました。また、声掛けだけでは

誘われた方も不安がありますので、例会に来てもらいクラブの雰囲気を感じていただく。夜の例会でしたら、お酒の席から徐々に傾かせるという方法も良いとの意見がありました。実際、今回出席された会員の中にも最初食事という名の例会に誘われ、入会を決めました、又は入会せざるおえない空気になってしまったという会員の方がおりました。ですから、まずは食事などに気軽に誘い、例会に来られたならば、徐々に「入会してもいいかな」と思わせるように他の会員も含め一丸となって雰囲気作り、声掛けなど努力していくことが大切であるという意見になりました。それから、出席率も無視できない大切な問題であります。出席率の良し悪しはロータリーに対する理解の深さや活動の中身に影響するものなので、出席率アップは会員増強とともに努力していかなければいけない事案だと思います。次の議題は退会防止についてです。せっかく新会員入会で努力しても、退会者が出てしまっただけは何にもなりません。防止策として何があるのか。まれに会員同士の意見の相違、トラブルなどから退会に至ってしまうケースがありますが、人間関係で退会者を出すということは会としても誠に残念ですし悲しいものです。そういった退会者を出さない為にも、会としてルールというか流れをきちんと作ったほうが良いとの意見がでました。例としては、万が一退会希望者が出たとき、希望者はまず会員増強委員長に退会理由等を報告する。その上で会員増強委員長が理事会に報告し話し合いをもつ。理由等によっては会としてすばやく動きなんらかの手を打っていくようにするのが良いとの意見になりました。会員自身が一人で悩み考え決めないで、必ず誰かに相談し助言を得られるような体制づくりが大切ではないかと思えます。また、退会につながる可能性も秘めている長期欠席者について今後どうするのか、今後の課題として話し合っていかなければなりません。何日も欠席が続くと、何をしているのかがわからなくなり、長期欠席につながる恐れがありますので、仕事等で欠席しても、前回の例会の内容がわかるようにもっと重要な部分を会報に載せてほしいという意見も出ました。それから、ロータリーの活動について少し話がでたのですがいろんな活動を行ってはいますが、あまり地域に密着していない、宣伝が足りないのではないかと、との意見がでました。これからはもう少し上手にメディアを利用してロータリーの活動をアピールしていくようにした方が良いのではないかと

の意見が出ました。3 番目の議題としては会の運営についてです。主にCLPについて話がでました。他のクラブは簡素化が進んでいますが南クラブとしてどうしていくのか。CLPの主旨はマンネリ化したロータリークラブの運営を活性化させることが最大の目的です。ガバナーも統一したい意向はあるようですが、クラブには大、中、小と様々な大きさがありますので、ロータリーの規定枠内であれば、そのクラブの大きさにあったやり方で良いのではないかととの意見で一致しました。また、副会長についてですが、副会長は単なる会長補佐ではなく、重要な仕事を担っています。今一度定款と照らし合わせ、副会長のポジションをもっと明確にし、再認識する。また、各委員会毎でも会合等をもっとそれぞれの役割を再認識する事が大切である。これらについては後期、各委員会において話し合いをしていただく、という意見になりました。

今回の内容をまとめますと

1. 例会はなるべく休まないで出席する。
2. 会報に欠席した人が前回どういう内容だったかわかるように重要な部分をもっと載せてほしい。
3. 候補者リストをきちんと更新していく。
4. 常に会員増強の意識を持ち、積極的に声掛けをし、増強につなげていく。
5. 退会者をなくすために会としてルール、流れを作る。
6. 上手にメディア等を利用し、地域に密着したクラブ活動をしていく。
7. 長期欠席者への今後の対応について。
8. CLPについては、南クラブの大きさにあったやり方で良いのか。
9. 副会長の役割と各委員会の役割についての再認識。

以上で時間となりました。これでBグループの発表を終わります。



・ 次回のプログラム

3月28日(金)

「ゲスト講話・児童虐待について」

会場 釧路全日空ホテル 担当：新世代委員会

・ 点 鐘 佐野会長
今週の会報担当：木内治彦会員